

地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）の 自己評価について

1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）により支援を受けた事業については、毎年度、協議会（＝県協議会）自らが事業実施の確認及び自己評価を行い、その結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに中部運輸局長に報告することとされています。

本年度も次の路線（系統）について支援を受けていますので、自己評価について協議をお願いいたします。

2 対象路線

No.	補助対象事業者	路線名	起終点等
1	秋葉バスサービス(株)	秋葉線	袋井駅前～遠州森町～気多
2		秋葉中遠線 (※3系統)	袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町
3			袋井駅南口～横須賀車庫前～大東支所
4			袋井駅南口～新岡崎～横須賀車庫前

3 自己評価期間

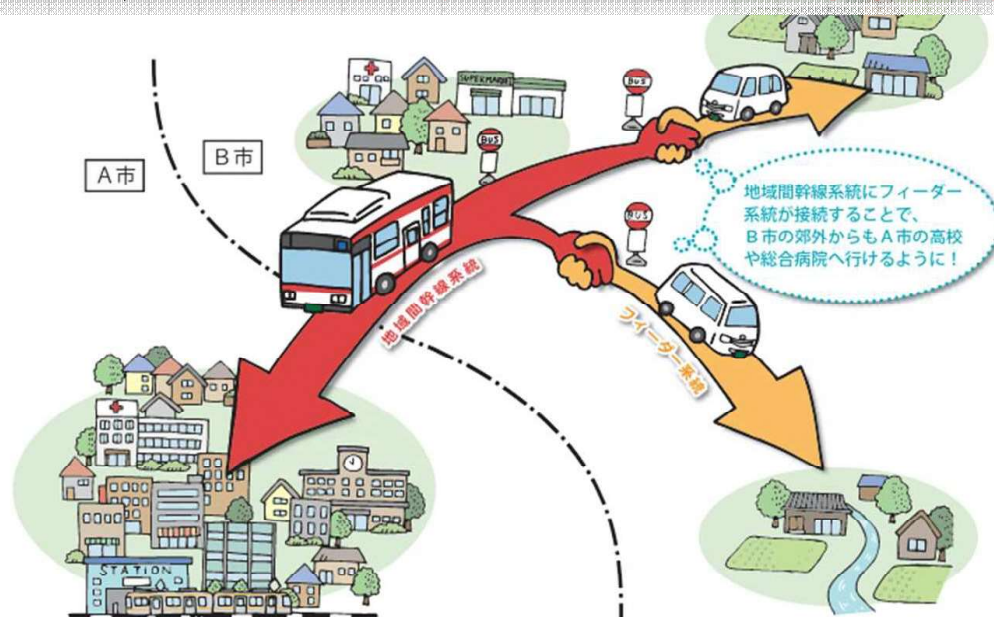
令和6年10月1日から令和7年9月30日まで

令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

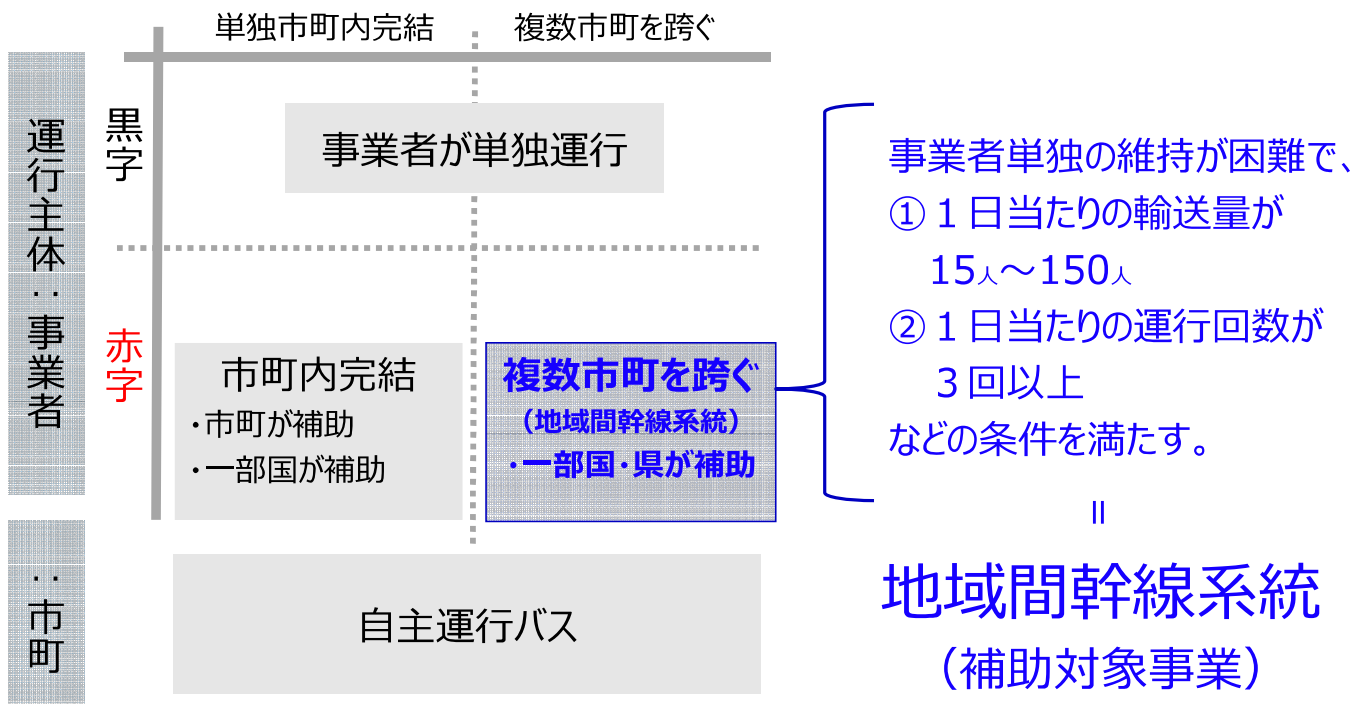
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏として設定**。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために（監修：中部運輸局）

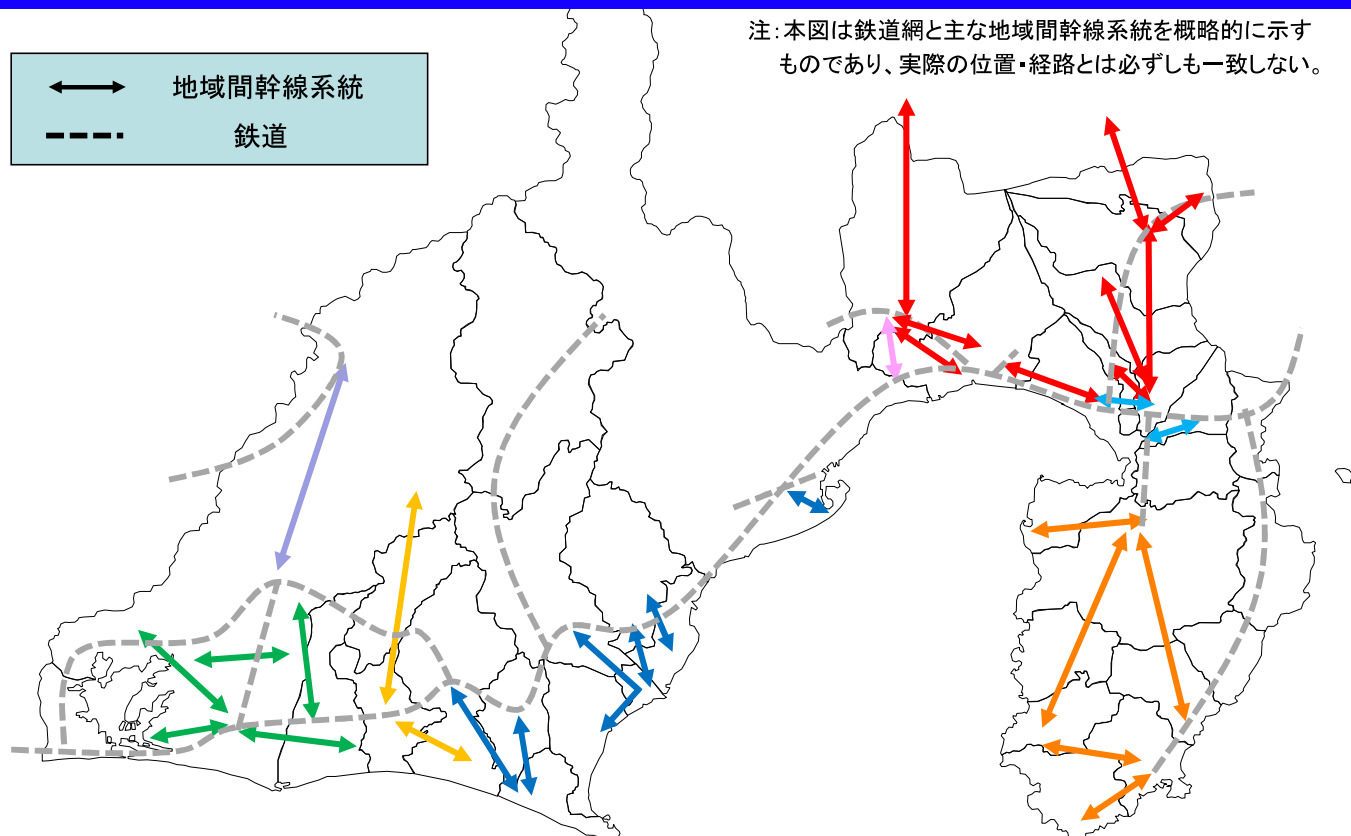
地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



2

県内の地域間幹線系統(概略図)



3

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

○補助対象事業が適切に行われているか確認する

○評価結果を分析し、事業改善に繋げる

→補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会を指す。

4

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・C・Dで評価

項 目	評価する内容	評 価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合 計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点以下

令和7年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通				1	1
秋葉バスサービス	2	1	1		4
遠州鉄道	5	9		2	1 6
しずてつジャストライン	4	5	1	1	1 1
富士急モビリティ	1	3			4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	3			4
富士急シティバス	2	4			6
伊豆箱根バス	2	1			3
東海バス	4	4			8
合 計	2 3	3 0	2	4	5 9

6

評価結果内訳

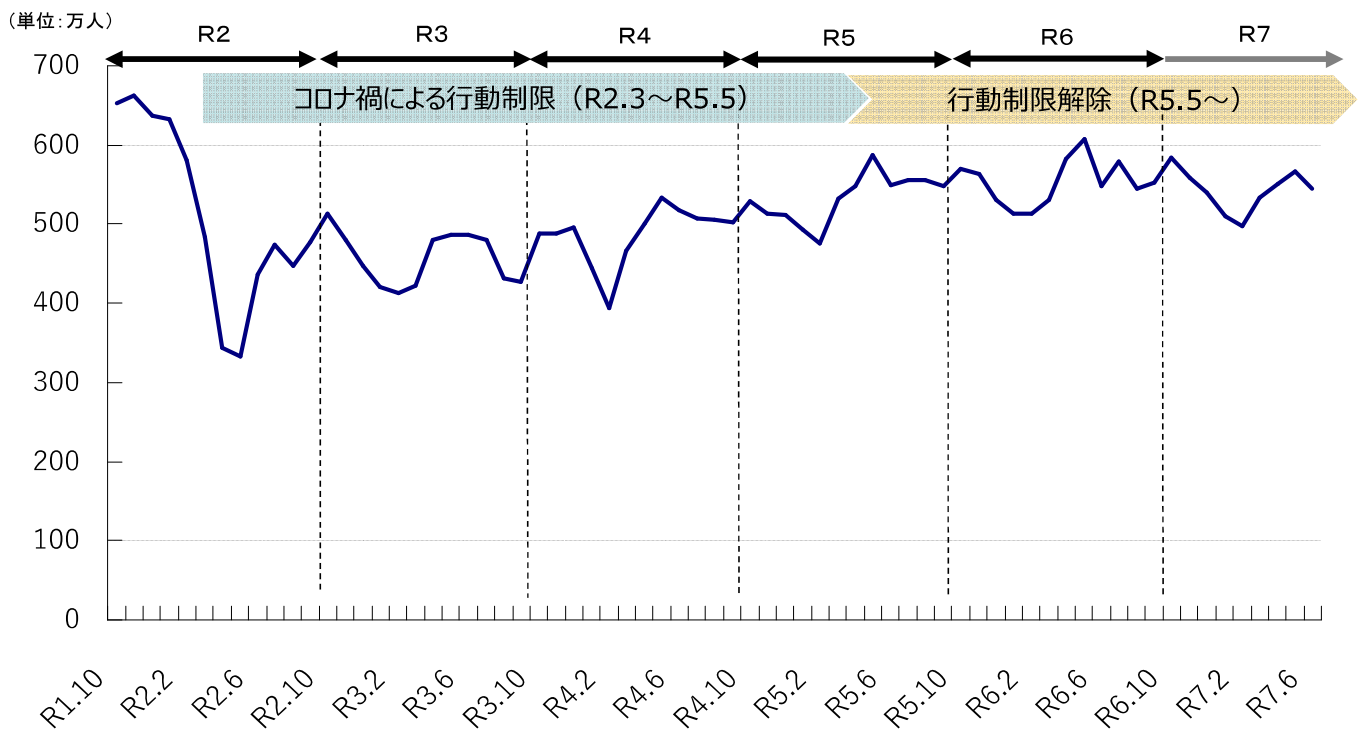
○事業者ごとの系統別の評価

事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
1 山梨交通	富士宮駅～イオン、星山台～備原南院	C	D	△
2	秋葉線	D	C	○
3 秋葉バス	秋葉中遠線	A	A	—
4 サービス	秋葉中遠線	A	A	—
5	秋葉中遠線	B	B	—
6	浜北区大三方原聖隷線	B	B	—
7	磐田市立病院福田線	A	B	△
8	中ノ町磐田線	B	A	○
9	秋葉線	B	D	△
10	磐田天竜線	A	B	△
11	磐田天竜線	B	B	—
12	掛塚さなる台線	A	A	—
13 遠州鉄道	内野台線	A	B	△
14	内野台線	B	A	○
15	磐田市立病院福田線	D	D	—
16	引佐線	A	A	—
17	萩丘都田線	A	B	△
18	大塚ひとみヶ丘線	A	B	△
19	気賀三ヶ日線	A	B	△
20	奥山線	A	B	△
21	掛塚さなる台線	A	A	—
22	三保草薙線	B	A	○
23	五十海大住線	B	A	○
24	焼津岡部線	B	A	○
25	藤枝吉永線	A	B	△
26	島田静波線	A	D	△△
27 しずてつ	島田静波線	B	B	—
28 ジャストライン	藤枝相良線	B	B	—
29	菊川浜岡線	A	B	△
30	掛川大東浜岡線	A	B	△
31	掛川大東浜岡線	B	A	○
32	掛川大東浜岡線	D	C	○
33	御殿場線	A	B	△
34 富士急	駿河小山線	A	B	△
35 モビリティ	十里木線	A	B	△
36	河口湖線	A	A	—
37 富士急バス	河口湖線	A	A	—
38	新富士線	A	A	—
39	曾比奈線	C	B	○
40 富士急	大淵線	C	B	○
41 静岡バス	大月線	A	A	—
42	大月線	B	B	—
43	駿河平線	B	B	—
44	須山線	B	B	○
45 富士急	原線	B	B	—
46 シティバス	桜堤線	B	B	○
47	がんセンター線	B	A	○
48	がんセンター線	B	A	—
49	沼津大岡三島線	A	A	—
50 伊豆箱根	長岡伊豆三津シーパラダイス線	B	A	○
51 バス	沼津静岡長岡線	B	B	—
52	石廊崎線	A	A	—
53	天城峠線	A	B	△
54	戸田線	A	B	△
55 東海バス	西海岸線	A	A	—
56	バサラ峠線	A	B	△
57	バサラ峠線	A	B	△
58	下賀茂線	A	A	—
59	柿田線	B	A	○

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R7.6)



(静岡県地域交通課調査)

8

燃料価格など物価高騰の影響①

■県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R7.10)



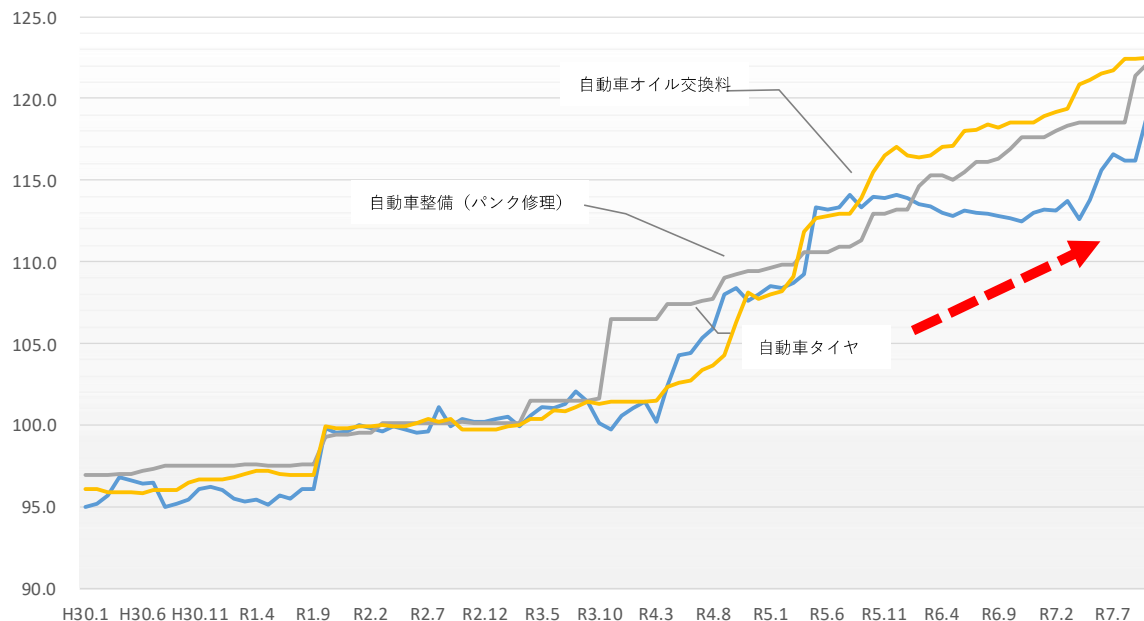
(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

9

燃料価格など物価高騰の影響②

■車両維持費の推移（H30.1～R7.10）

（物価指数：2020年=100）



（2020年基準消費者物価指数を元に県地域交通課作成）

10

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ取組強化期間の設定 ・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制 ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入 ・スマホ定期券の販売を開始 ・キャッシュレス決済機器の導入 ・市町と連携したバスの乗り方教室の実施 ・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

11

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 公共交通利用券の配布 ▪ バスの日イベントの実施 ▪ バスロケーションシステム導入費用の補助 ▪ キャッシュレス決済機器導入費用の補助 ▪ 小学生を対象にしたバス無料デーの実施
物価高騰 対 策	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 車両維持費への補助 ▪ 燃料費高騰分の補助

令和 7 年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+ 5 %以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価（10 点満点）
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評 価	内 容
A（86 点以上）	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B（66～85 点）	地域間幹線系統として適した運行となっている
C（51～65 点）	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D（0～50 点）	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R6：B）

- ・評価対象系統全 59 系統中、A 評価：23 系統、B 評価：30 系統、C 評価：2 系統、D 評価：4 系統
- ・平均点数が 80.9 点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和 7 年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名		系統名	補助基準(40点)			実施状況(40点)			幹線性・広域性(20点)			点数	評価					事業者 平均	全体評価
			運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)		収支率 (15点)	乗車人員 (15点)		ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)			A 86～100	B 66～85	C 51～65	D 0～50	計		
山梨交通	1	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	3	15	6	5	11	41				○	1	41.0	B [全体評価の理由] ・平均評価点数が80.9点である。
秋葉バスサービス	2	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	5	15	3	20	23	10	5	15	53			○		4	77.7	
	3	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	10	5	15	87	○						
	4	秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	6	8	14	86	○						
	5	秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	5	8	13	85		○					
遠州鉄道	6	浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	15	27	10	8	18	85		○			16	78.7	
	7	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	6	21	7	5	12	73		○					
	8	中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	15	35	9	5	14	89	○						
	9	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	5	15	6	3	9	7	8	15	39				○			
	10	磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	10	30	40	20	6	26	8	10	18	84		○					
	11	磐田天竜線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	6	21	8	8	16	77		○					
	12	掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	9	8	17	92	○						
	13	内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	14	内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	15	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	5	8	13	46				○			
	16	引佐線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○						
	17	萩丘都田線	10	30	40	20	3	23	10	5	15	78		○					
	18	大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	10	0	10	73		○					
	19	気賀三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	10	5	15	81		○					
	20	奥山線	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	しずてつジャストライン	21	掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○					
22		三保草薙線	10	30	40	20	15	35	10	2	12	87	○						
23		五十海大住線	10	30	40	15	20	35	10	8	18	93	○						
24		焼津岡部線	10	30	40	15	20	35	6	10	16	91	○						
25		藤枝吉永線	10	30	40	15	3	18	10	8	18	76		○					
26		島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15	10	10	20	50				○			
27		島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75		○					
28		藤枝相良線	10	30	40	15	3	18	10	10	20	78		○					
29		菊川浜岡線	10	30	40	20	3	23	5	8	13	76		○					
30		掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	3	15	9	10	19	74		○					
31		掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
32		掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	12	20	32	4	10	14	56			○				
富士急モビリティ	33	御殿場線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○			4	82.2	
	34	駿河小山線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
	35	十里木線	10	30	40	15	3	18	8	10	18	76		○					
	36	河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急バス	37	河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				2	100	
	38	新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急静岡バス	39	曾比奈線	10	5	15	20	20	40	8	10	18	73		○			4	78.2	
	40	大淵線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○					
	41	大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○						
	42	大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○					
富士急シティバス	43	駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79		○			6	82.5	
	44	須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	45	原線	10	30	40	12	6	18	10	2	12	70		○					
	46	桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83		○					
	47	がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	6	5	11	91	○						
	48	がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	8	8	16	91	○						
伊豆箱根バス	49	沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				3	89.3	
	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	15	35	7	8	15	90	○						
	51	沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	7	5	12	78		○					
東海バス	52	石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	10	17	97	○				8	87.3	
	53	天城峠線	10	30	40	20	6	26	10	8	18	84		○					
	54	戸田線	10	30	40	20	3	23	7	8	15	78		○					
	55	西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○						
	56	バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
	57	バサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○					
	58	下賀茂線	10	30	40	12	20	32	7	8	15	87	○						
	59	柿田線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
計											80.9	23	30	2	4	59			

地域間幹線系統項目別評価一覧表（輸送量）

事業者名		系統名	R5実績	R6実績	R7実績	備考
山梨交通	1	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	20.6	19.5	19.5	R8.1～退出
秋葉バスサービス	2	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	19.8	14.5	19.2	
	3	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	56.7	58.5	59.5	
	4	秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	22.1	24.6	24.6	
	5	秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	54.8	53.7	63.4	
	6	浜北医大三方原聖隷	25.0	20.4	21.7	
遠州鉄道	7	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	27.2	24.9	24.9	
	8	中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	85.5	80.0	81.4	
	9	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	21.7	25.0	19.1	
	10	磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	28.4	25.9	24.9	
	11	磐田天竜線(らぼーと経由)	61.4	59.6	55.3	
	12	掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	19.6	20.5	22.1	
	13	内野台線(内野台車庫)	46.2	42.3	40.0	
	14	内野台線(サンストリート浜北)	49.0	36.1	46.2	
	15	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	21.7	19.4	17.6	
	16	引佐線	71.2	66.5	66.5	
	17	萩丘都田線	29.5	28.5	27.5	
	18	大塚ひとみヶ丘線	85.5	93.8	83.4	
	19	気賀三ヶ日線	61.0	65.3	63.6	
	20	奥山線	92.1	107.3	104.3	
	21	掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	137.7	130.3	137.7	
しずてつジャストライン	22	三保草薙線	40.4	39.9	41.6	
	23	五十海大住線	26.7	25.2	29.9	
	24	焼津岡部線	54.0	50.1	57.2	
	25	藤枝吉永線	45.3	57.2	44.9	
	26	島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	23.1	25.6	19.2	
	27	島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	26.6	23.8	20.4	
	28	藤枝相良線	55.4	59.6	49.9	
	29	菊川浜岡線	38.0	46.5	45.0	
	30	掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	24.6	42.9	37.7	
	31	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	37.2	33.5	32.3	
	32	掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	31.9	6.7	11.3	R7.10～「30掛川大東浜岡線」と統合
	33	御殿場線	30.0	24.5	18.5	
富士急モビリティ	34	駿河小山線	31.8	34.4	27.2	
	35	十里木線	25.4	30.0	24.3	
	36	河口湖線	21.6	23.4	28.8	
	37	河口湖線	74.0	79.2	81.0	
富士急バス	38	新富士線	17.7	25.5	27.9	
富士急静岡バス	39	曾比奈線	16.1	15.1	15.6	
	40	大淵線	16.7	15.5	15.5	
	41	大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	85.1	79.2	81.1	
	42	大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	17.4	15.3	15.6	
富士急シティバス	43	駿河平線	45.9	30.5	22.6	
	44	須山線(三島駅～須山)	34.8	31.0	26.4	
	45	原線	31.9	31.5	24.3	
	46	桜堤線	54.9	58.8	53.5	
	47	がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	26.4	24.2	21.8	
	48	がんセンター線(三島駅～がんセンター)	58.5	37.3	39.2	
伊豆箱根バス	49	沼津大岡三島線	126.5	118.2	137.8	
	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	76.1	68.5	69.2	
	51	沼津静浦長岡線	149.4	135.0	135.7	
東海バス	52	石廊崎線	48.0	46.5	60.0	
	53	天城峠線	39.0	40.0	48.0	
	54	戸田線	26.6	37.8	25.5	
	55	西海岸線	54.4	58.9	59.8	
	56	バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	44.0	48.8	48.8	
	57	バサラ峠線(下田駅～宇久須)	27.9	23.6	19.3	
	58	下賀茂線	—	22.7	20.5	
	59	柿田線	—	72.0	80.4	
計(平均値)			46.0	45.0	44.7	

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
秋葉バスサービス(株)	秋葉線	袋井駅前	遠州森町	気多
系統キロ程	関係市町			
43.5 km	袋井市	森町	浜松市	

2 評価結果

項目	評価のポイント		実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか		—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか		6.4 回/日	10	6.6 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか		19.2 人/日	5	14.5 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか		—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか		24.7 %	3	20.5 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績	107,490 人	20	77,685 人
		計画	77,685 人		92,751 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか		—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	2 箇所	10	2 箇所
		乗継バス停	7 箇所		7 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか		28.1 %	5	19.4 %

補助基準	15 /40
実施状況	23 /40
幹線性・広域性	15 /20
合計	53 /100

評価指標

C

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	JR袋井駅から森町を経由し浜松市天竜区春野町を結ぶ地域間幹線系統で、沿線には高等学校、中学校、幼稚園が多数あり、特に通学に不可欠の系統である。また、通勤や通院の為に必要な系統である。なお、天竜区春野町から森町、袋井市内に至る唯一の系統でもある。令和7年1月に運休区間が再開し全面復旧。
ネットワーク 構成の詳細	(拠点) JR袋井駅バスターミナル、遠州森町バスターミナル
	(乗継ぎバス停) ①他系統分岐バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、上久能 ②天竜浜名湖鉄道駅：戸綿
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) ①学校：春野中学校、気田小学校、天竜高校春野校舎、犬居小学校、森町中学校、森町小学校、遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校 ②病院：袋井市民病院 ③商業施設：イオン袋井店 ④官公庁：天竜区春野協働センター、森町役場、袋井市役所 ⑤駅：天竜浜名湖鉄道戸綿駅、JR袋井駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	①ダイヤ改定 ・JRとの接続改善 ・ダイヤ改定情報の周知 (HP、時刻表の配布) ②バスの乗り方教室 (沿線小学校) ③運賃箱の改良 (令和2年8月導入) ④バスロケーションシステムの活用 (令和3年9月導入) ⑤スマホ定期による発売 (令和5年9月導入) ⑥QR決済機器の導入 (令和7年3月導入)
費用削減策	①エコドライブ取組の強化月間 (1～4月) ②キロ当たり経常経費の抑制 ・静鉄グループのスケールメリットを活かした運行経費の抑制 (仕入れ、賃料等)

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
秋葉バスサービス(株)	秋葉中遠線	袋井駅前	袋井市民病院	遠州森町
系統キロ程	関係市町			
13.0 km	袋井市	森町		

2 評価結果

項目	評価のポイント		実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか		—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか		18.6 回/日	10	18.3 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか		59.5 人/日	30	58.5 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか		—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか		38.8 %	12	44.9 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	170,357 人	20	161,086 人
		計画	161,086 人		144,305 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか		—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	2 箇所	10	2 箇所
		乗継バス停	7 箇所		7 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか		18.3 %	5	14.1 %

補助基準	40 /40
実施状況	32 /40
幹線性・広域性	15 /20
合計	87 /100

評価指標

A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	JR袋井駅から森町中心部を結ぶ地域間幹線系統（主系統）で、沿線には高等学校、中学校、小学校、幼稚園が多数あり通学に必要な系統である。また、袋井市民病院を系統とするとともに、イオン袋井店も運行しており、通院、買い物や通勤のためにも必要な系統である。
ネットワーク 構成の詳細	（拠点） JR袋井駅バスターミナル、遠州森町バスターミナル
	（乗継ぎバス停） ①他系統分岐バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、上久能 ②天竜浜名湖鉄道駅：戸綿
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	（バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設） ①学校：遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校 ②病院：袋井市民病院 ③商業施設：イオン袋井店 ④官公庁：森町役場、袋井市役所 ⑤駅：天竜浜名湖鉄道戸綿駅、JR袋井駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	①ダイヤ改定 <ul style="list-style-type: none"> ・JRとの接続改善 ・ダイヤ改定情報の周知（HP、時刻表の配布） ②バスの乗り方教室（沿線小学校） ③運賃箱の改良（令和2年8月導入） ④バスロケーションシステムの活用（令和3年9月導入） ⑤スマホ定期による発売（令和5年9月導入） ⑥QR決済機器の導入（令和7年3月導入）
費用削減策	①エコドライブ取組の強化月間（1～4月） ②キロ当たり経常経費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・静鉄グループのスケールメリットを活かした運行経費の抑制（仕入れ、賃料等）

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
秋葉バスサービス(株)	秋葉中遠線	大東支所	横須賀車庫前	袋井駅南口
系統キロ程	関係市町			
17.7 km	袋井市	掛川市		

2 評価結果

項目	評価のポイント		実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか		—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか		8.5 回/日	10	8.5 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか		24.6 人/日	30	24.6 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか		—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか		34.9 %	12	40.1 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	62,430 人	20	54,355 人
		計画	54,355 人		50,604 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか		—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	6	1 箇所
		乗継バス停	4 箇所		4 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか		35.1 %	8	44.9 %

補助基準	40 /40
実施状況	32 /40
幹線性・広域性	14 /20
合計	86 /100

評価指標

A

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	JR袋井駅から掛川市南部の横須賀、大東を結ぶ地域間幹線系統で沿線高等学校、小学校の通学に必要な系統である。また、掛川市南部および袋井市南部からJR袋井駅へ出る主系統であるため他市への通勤、通学のためにも必要な系統である。
ネットワーク 構成の詳細	(拠点) JR袋井駅バスターミナル
	(乗継ぎバス停) 自社他社系統および他社系統分岐バス停：芝、浅羽支所、横須賀車庫前、大東支所
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) ①学校：浅羽北小学校、浅羽中学校、笠原小学校、横須賀高校、横須賀小学校、大須賀中学校、大淵小学校、大浜中学校 ②官公庁：袋井市浅羽支所、掛川市大東支所 ③駅：JR袋井駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	①ダイヤ改定 <ul style="list-style-type: none"> ・JRとの接続改善 ・ダイヤ改定情報の周知（HP、時刻表の配布） ②バスの乗り方教室（沿線小学校） ③運賃箱の改良（令和2年8月導入） ④バスロケーションシステムの活用（令和3年9月導入） ⑤スマホ定期による発売（令和5年9月導入） ⑥QR決済機器の導入（令和7年3月導入）
費用削減策	①エコドライブ取組の強化月間（1～4月） ②キロ当たり経常経費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・静鉄グループのスケールメリットを活かした運行経費の抑制（仕入れ、賃料等）

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
秋葉バスサービス(株)	秋葉中遠線	横須賀車庫前	新岡崎	袋井駅南口
系統キロ程	関係市町			
11.7 km	袋井市	掛川市		

2 評価結果

項目	評価のポイント		実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか		—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか		23.5 回/日	10	19.9 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか		63.4 人/日	30	53.7 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか		—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか		36.1 %	12	41.6 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	123,803 人	20	92,756 人
		計画	92,756 人		94,003 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか		—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	1 箇所	5	1 箇所
		乗継バス停	3 箇所		3 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか		43.0 %	8	47.1 %

補助基準	40 /40
実施状況	32 /40
幹線性・広域性	13 /20
合計	85 /100

評価指標

B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	JR袋井駅から掛川市南部の横須賀、大東を結ぶ地域間幹線系統で沿線高等学校、小学校の通学に必要な系統である。また、掛川市南部および袋井市南部からJR袋井駅へ出る主系統であるため他市への通勤、通学のためにも必要な系統である。
ネットワーク 構成の詳細	(拠点) JR袋井駅バスターミナル
	(乗継ぎバス停) 自社他社系統および他社系統分岐バス停：芝、浅羽支所、横須賀車庫前
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) ①学校：浅羽北小学校、浅羽中学校、笠原小学校、横須賀高校、横須賀小学校、大須賀中学校 ②官公庁：袋井市浅羽支所、掛川市大東支所 ③駅：JR袋井駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	①ダイヤ改定 ・JRとの接続改善 ・ダイヤ改定情報の周知 (HP、時刻表の配布) ②バスの乗り方教室 (沿線小学校) ③運賃箱の改良 (令和2年8月導入) ④バスロケーションシステムの活用 (令和3年9月導入) ⑤スマホ定期による発売 (令和5年9月導入) ⑥QR決済機器の導入 (令和7年3月導入)
費用削減策	①エコドライブ取組の強化月間 (1～4月) ②キロ当たり経常経費の抑制 ・静鉄グループのスケールメリットを活かした運行経費の抑制 (仕入れ、賃料等)

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		袋井市
対象系統		
評価指標	A	秋葉中遠線（袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町）、 秋葉中遠線（大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口）
	B	秋葉中遠線（横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口）
	C	秋葉線（袋井駅前～遠州森町～気多）
	D	
市町の取組		
<p>「袋井市地域公共交通計画」において、「秋葉中遠線」及び「秋葉線」は、本市公共交通の南北軸を担う基幹バス路線として位置づけており、主に朝晩の通学・通勤手段として維持・改善していくこととしている。本計画の目標達成に向けて計画に掲げた「運行・サービス・関係者意識のレベルアップ」に関する各種事業に基づき、以下の取組を実施した。</p> <p>また、令和7年1月に全線復旧した「秋葉線」については、共創事業「秋葉線再編プロジェクト」を通し、沿線市町・天竜高校・事業者とともに、路線の課題共有や利用促進に取り組んだ他、利用促進策や運転士確保に向けた支援策等について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内高校（袋井高校、袋井商業高校）と協力し、バスの通学利用促進に向け、一日体験入学時に、通学案内チラシを配布 ・ 事業者と協力し、市内イベント（ふれあい夢市場）でバス車両展示や路線図・時刻表・乗り方案内・運転士募集チラシ・バスペーパークラフト等の配布を実施 ・ 事業者と協力し、ハッピーライド（小学生バス無料デー）を市のSNS（コミセンLINEやInstagram等）で周知し、当日はバスに関連するノベルティグッズを配布した。 		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	AまたはB	引き続き国、県の補助を受けるとともに、沿線市町と連携して欠損額を補助し、事業者による運行の継続を図る。 また、「袋井市地域公共交通計画」に掲げる事業を実施することで、利用促進を図る。
	CまたはD	秋葉線は、浜松市天竜区春野町から、森町・袋井市へと接続する唯一の系統であり、沿線に多数ある学校への通学を支える重要な路線である。 引き続き国、県の補助を受けられるよう、「袋井市地域公共交通計画」に掲げる事業を継続して実施するほか、「秋葉線再編プロジェクト」などにより沿線市町及び事業者と連携して利用促進を図るとともに、路線の利用状況を注視していく。 また、沿線市町と連携して欠損額を補助し、事業者による運行の継続を図る。

(記載要領)

- 1 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 2 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください（必要に応じて詳細資料（様式任意）を添付すること）。

参考資料

秋葉バスサービス(株) 地域間幹線系統別輸送量

運 行 系 統					輸送量（人/日）						
No.	路線名	起終点等	キロ程 (km)	運行回数 (回)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	秋葉線	袋井駅前～遠州森町～気多	43.5	6.6	17.8	15.8	11.2	13.6	19.8	14.5	19.2
2	秋葉中遠線	袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町	13.0	18.3	64.0	51.2	47.5	47.5	56.7	58.5	59.5
3	秋葉中遠線	袋井駅南口～横須賀車庫前～大東支所	17.7	8.4	19.3	27.7	20.1	22.9	22.1	24.6	24.6
4	秋葉中遠線	袋井駅南口～新岡崎～横須賀車庫前	11.7	19.6	62.7	45.0	47.0	49.0	54.8	53.7	63.4